



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター
〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8
E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp
URL <http://www16.ocn.ne.jp/~smi/>

空気の実感



「サイエンスキッズ」 始まる

26年度のサイエンスキッズセミナーが1月17日(土)から2月22日(日)まで10回(講座は5種類)の予定で開催された。第2回目は「ミニ空気砲」づくりであった。ペットボトルにゴム風船をとりつけ、空気を押し出す仕掛けをつくって空気の実感する活動であった。他の講座では「光のおもしろ箱」「発泡スチロールスタンプ」「磁石でゆれるUFO」「プロペラ船」が予定されている。

この講座は、理科を専門とする教員OBが「心に響く理科実験」をテーマに、身近な自然と材料で子どもたちに科学の楽しさを味わわせることを大切にしている。



心にひびく理科実験

会計担当者会議開催



1月23日(金)川崎市教育会館で会計担当者会議が開催された。向井副理事長の挨拶に引き続き、認定NPO法人取得に関する会計事務の基本的について中山陽洋監事より、会計処理の見直しの必要性について小泉めぐみ会計士より、奥津事務局次長からは受託管理費の適正経理化についての説明があった。プロジェクト会計の体裁の統一化、プロジェクト会計の統括と本部会計の責務等、情報公開に耐える経理の明瞭性と本部会計の集中管理の必要性が話し合われた。6月の認定申請も間近となり会計担当者の理解と協力が不可欠であるとの状況が確認された。

ふるさと発見講座町歩き

27年 2月の行事予定



中原堰跡地



栄橋 (境橋)



溝口駅開会式



交差点での安全確認



集合場所案内掲示の松田さん



進行の対馬さん・新保館長

1月14日(水)大山街道ふるさと館の企画による「ふるさと発見講座町歩き」が発足した。各区役所に募集案内を掲示したところ、予定の30人を超える希望があった。JR溝口に集合し、対馬副理事長の進行で開会式を行った。新保館長の挨拶、藤田理事長の紹介のあと、高津シルバーガイドの会代表の佐藤忠さんの案内でスタートした。



会計担当安原さん

駅の自由通路とキラリデッキの久地円筒分水(写真上)である。続いて焼き鳥店の並ぶ西口商店街、たび重なる洪水にあった栄橋、平瀬川とニケ領用水の立体交差、旧平瀬川にかかる上の橋、巨海橋、蓮菜橋の説明を聞く。高津中央病院裏の中原堰は(一度発掘されたが保存のため埋め戻された)。坂戸の石橋供養塔などを見学し、沼田記念館・ミットヨ博物館の精密測定器の説明を受けて終了した。案内者の巧みな説明、交通安全面を配慮する安原、高橋、対馬さんら所員と新保館長の連携で盛会裡に終了した。

第2回は4月実施の予定である。

日	曜	主な行事
1	日	サイエンスキッズ⑥ (青)エコチャレンジクラブ⑨ (青)子ども運営委員会
3	火	(青)卓球・お話し会、(南)安全点検
4	水	研究推進委員会10:00 ふれあい活動打合せ14:00
6	金	(青)フェスタ参加団体打合せ (旭)お茶・(南)情報交換会⑦
7	土	研究推進委員会10:00~ ふれあい活動打合せ14:00~ 青少年の家・ふるさと館経営委員会 (学習プラザ13時30分)
9	月	中原区保護者ミーティング ふるさと館まつり企画展③2/15まで
10	火	(青)KYWC、(旭)読み聞かせ 不登校対策連絡協議会②(ゆうゆう広場高津)
11	水	建国記念の日(青)卓球
13	金	役員会14:00教育会館 (旭)スパーバイズ⑩(南)子育てサロン
14	土	(山)子ども歴史探究講座③ サイエンスキッズ⑦宮ノ下 エネルギーワークショップ(大戸小) ふれあい宿泊体験⑤
15	日	サイエンスキッズ⑧宮ノ下 (青)エコチャレンジクラブ⑩
16	月	(旭)子ども支援室会議④
17	火	(青)卓球(旭)読み聞かせ 認定化推進委員会13:30
18	水	学習・相談部会10:00 (山)こども探検クラブ
19	木	運営協議会(教育会館:14:00)
21	土	サイエンスキッズ⑨宮ノ下 (山)歴史探訪講座
22	日	サイエンスキッズ⑩宮ノ下
23	月	研究報告会リハーサル13:00教育会館 (旭)COOKING(山)職員研修
24	火	(青)卓球
25	水	(青)KYWC(南)読み聞かせ
26	木	サポーター研修会④教育会館 (旭)保護者会
27	金	事務局・次長会、事務局会10:00 のびのびファーム運営委員会ゆうゆう広場あさお
28	土	文部科学省委託研究報告会13:30 教育会館大会議室

編集後記

いよいよ年度末を迎えようとしている。サポーター研修会も最終4回目、子どもたちの学習もまとめの段階、研究推進委員会も2月28日の研究報告会の準備が最終段階、とりわけ各会計担当者の忙しさが目に浮かぶ。その忙しさの中で27年度へのつながり(波紋)の輪が今日も感じられる。